

SUPER-FJ Race report



2020 OKAYAMA チャレンジカップレース
S-FJ 岡山シリーズ Rd.4・Rd.5

Super FJ JAPAN CHALLENGE 第3戦

2021年 8月 7・8日 天候 晴れ 参加12台



テキスト:はた☆なおゆき

2016年から始まり、今では夏の定番イベントとなった「スーパーFJサマーフェスティバル in 岡山」が8月7～8日に、好天に恵まれた岡山国際サーキットで開催された。

第1回大会が行われたのは5年前、最初のウィナーに輝いて連勝を飾ったのが今をときめく角田裕毅選手だった。まだ16歳になったばかりの新鋭がデビューウィンを達成した後、トントン拍子でステップアップを重ね、今年はずいにF1 グランプリにまでたどり着いた。まさに角田選手にとって、フォーミュラの原点とも言える大会なのである。

今年も2レース開催で、レース2はレース1の決勝結果に基づき、トップ6のリバースグリッドとなるのは昨年同様。昨年までと、やや状況が異なるのはエントリーが14台に留まったことだ。以前は20台を越すエントリーがあり、遠征ドライバーと地元ドライバーによる対決は最大の焦点に。特に2019年から「スーパーFJジャパン チャレンジ」とのWタイトルとなったことで、その様相が濃くなったものだ。

しかし、今年は地元ドライバーがひとりだけで、しかもエントリーを取り消して皆無に。もうひとり取り消したことで、最終的なエントリーは12台とは、なんとも寂しい限りである。

実は岡山シリーズは危機的状態にあって、ここまで6戦中3戦を消化しているが、エントリーが乏しく選手権として成立しているのは1戦だけなのだ。近年、平川遼選手や牧野任祐選手、大湯都史樹選手ら優秀な若手ドライバーを輩出し、育成に適したシリーズ、サーキットとして高く評価されてきたはずなのに……。

《予選》

予選は8時55分から、15分間の計測で競われた。普段なら、こんな早朝からの開始とあっては低い温度が良くも悪くも影響しがちだが、今は夏真っ盛り。十分暑い、いや暑すぎる中での走行となった。そんな状況であるから、ほとんどのドライバーがいきなり計測1周目からアタックに入る中、あえてそのラップをウォームアップに充てていたのが岡本大地選手（FTK・レヴレーシングガレージ）だった。

その効果は十分あったよう。岡本選手はいきなり1分40秒359をマークしてトップに浮上。その後も1分40秒033、1分39秒703と順調にタイムを縮めていく。この後、2周走行するもタイムは伸びず、もうこれ以上の短縮は不可能と判断し、誰より早くピットに戻る事となった。

その岡本選手に続く2番手につけていたのが、富田自然選手（KKS-II/Aruga Support 香川）だった。周を重ねるごとくタイムを短縮し続け、1分40秒201にまで到達。しかし、これをラストアタックで超えたのが、小松響選手（Rn-Sports・OKABE・KK-SII）で、それまでの1分40秒566から1分40秒121にまでタイムを伸ばし、2番手に浮上した。

これで岡本選手、小松選手、富田選手という順になったかと思われたが、富田選手は走路外走行により、当該タイムが抹消されてしまう。それでも実質セカンドベストが1分40秒321だったため、ひとつ順位を落とすだけで済んだ。代わって3番手につけたのは、1分40秒256を記していた高口大将選手（FTK・レヴレーシングガレージ）。5番手には三島優輝選手（Rn-Sports 制動屋 KKS-2）が1分40秒732で、そして6番手には今回がデビューレースとなる、大木一輝選手（M2 KK-SII）が1分40秒739でつける事となった。

ポールポジション：岡本大地選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

「最後まで走らず、ピットに入りました、頭打ちだったので。タイムは想定どおりというか限界ですね。岡山では1年ぶりのレースで、自分との戦いになると思います。先行逃げ切りで、行っちゃおうと思っています」



予選2番手：小松響選手（Rn-Sports・OKABE・KKSII）

「最後のラップはうまく決まって、前もちょうどよくスリップ効く位置にいてくれたから、最後にタイムアップできたので、自分の中では流れとして良かったと思います。ここのレースは初めてで、練習は今週の木曜日からしていました。たぶんレースペースとか、あっち（岡本）の方が速いと思うので、スタートで頑張っとうにか前に出て、勝負できたらと思っています」



予選3番手：高口大将選手(FTK・レヴレーシングガレージ)

2番手から4番手まで僅差なので、たぶん決勝は接戦になると思います。昨日からそんな調子悪くなくて、今日の予選もそんなに悪くなかったんですが、でももうちょっとまとめられたかな、という気もしているので、満足はしていません。チームの中にいい先輩(岡本)がいるので、スタートを無難に決めて、前に着いていけるようにしたいです」



《決勝レース第4戦》

土曜日に行われるレース1こと決勝レース第4戦は、12周での戦いに。14時10分からのスタートとあって、温度は予選に増して上昇。気温は35度、路面温度に至っては60度にまで達していた。そんな中、集中力を切らすことなく絶妙のダッシュを決めていたのが岡本選手だった。1コーナーへのホールショットを決めると、あとはコーナーをひとつ超えるたびリードが広がっていく。負けず劣らず好スタートを切って、3番手に浮上していたのが三島選手。その勢いは留まることなく、ヘアピンでチームメイトの小松選手を捕らえて2番手に躍り出る。オープニングラップを終えると、岡本選手のリードは1秒6にまで広がり、もう独走態勢に突入。そのままアクセルを緩めることなく、ファステストラップを更新し続けて周回を重ねていく。

対照的に2番手争いが超熾烈。5周目のヘアピンでは三島選手と小松選手、高口選手が3ワイドで飛び込んでいくも、



エイペックスのあたりで接触が。その際に小松選手が左リヤのタイヤを痛めて、無念のリタイヤを喫してしまう。その後も高口選手と三島選手、さらに富田選手を加えた2番手争いは激しく続く。6周目に3番手に上がった富田選手は、11周目のヘアピンでも高口選手を抜いて2番手に。そして最終ラップのWヘアピン入口では、高口選手を抜こうとして接触した三島選手がコースアウト。最後はそれぞれ単独でのゴールとなった。

もちろん独走のままフィニッシュした岡本選手だったが、終盤のペースが明らかに鈍っていた。余裕……ではなく、鈴鹿シリーズ第3戦で生じていたのと同じような、エンジン不調を抱えていたからだ。表彰台で脇に並んだのは、富田選手と高口選手。4位は大木選手で、7番スタートだった鶴岡秀磨選手（MYST ゼンカイレーシング SKS-11）が5位。そして6位で三島選手はゴールした結果、レース2のポールポジションを幸か不幸か獲得することとなった。



第4戦優勝：岡本大地選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

「問題ない……はずだったんですけど、最後の4周ぐらいでまた、鈴鹿の時みたいなエンジンが吹けない、息尽きみたいな症状があって。本気で全力で走ったんですが、ちょっと最後あのペースしか出せなくて。うちのチームの高口も同じようなことが起きているみたいなので、これが起きている原因が分からないと、次の鈴鹿どころか、明日もやばいので。なんか原因を突き止めてもらいます。明日は6番手からですが、スタートで着いていければ、また1台ずつ抜いていけるはずですよ」

第4戦2位：富田自然選手（KKS-11/Aruga Support 香川）

「スタート自体は良かったんですけど、2コーナーで危なかったのが引かざるを得ない状況になって。引いてからは、ずっとチャンスがあればってうかがっていたんですけど、その間に岡本くんに逃げられたのは残念でした。でも、ずっと後ろで様子を見て、冷静に判断できたことで、結果的に2位になれたのは良かったのかなと。2位は最上位です、もうひとつ上げられるように頑張ります」

第4戦3位：高口大将選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

どうもエンジンの回転が、吹け切らないような症状が残り4周とかで出てしまって、ちょっと頑張
って走って、全力は尽くしたんですが最後に抜かれて。岡本選手にも同じような症状が出ているみ
たいなので、しっかり対策してもらって、明日は臨みたいです。クルマの動き自体は問題なくて、
すごくペースも良かったと思うので、頑張っって表彰台のてっぺんを狙います」

《決勝レース第5戦》



1位 三島 優輝
11 KK-S II Rn-Sports制動屋KKS-2

3位 大木 一輝
12 KK-S II M2 KK-S II

5位 富田 自然
61 KK-S II KKS- II / ArugaSupport香川

7位 太田 浩
21 KK-S II ミスト・セキチ・制動屋

9位 林 寛樹
71 KK-S II センカイレシング 真不同Fナジ-ED

11位 上吹越 哲也
9 KK-S II FTK・レヴレーシングガレージ

2位 鶴岡 秀磨
69 KK-S II MYSTセ'ンカイレシング KKS- II

4位 高口 大将
7 KK-S II FTK・レヴレーシングガレージ

6位 岡本 大地
8 KK-S II FTK・レヴレーシングガレージ

8位 夕田 大助
10 KK-S II LAPS

10位 高良 年彦
41 WEST17J PFCJ☆カクテンツLBJ

※ 12位 小松 響
15 KK-S II Rn-Sports-OKABE-KKS II

一夜明けて行われたレース2こと、決勝レース第5戦は同じく12周で競われ、9時55分の開始とな
った。未明に短い時間ではあったが雨が降り、若干ではあったが路面状態を変えていたようだ。
第4戦結果の上位6位までがリバーズとなる第5戦だが、ポールポジションは三島選手で、フロン
トローを分け合ったのは鶴岡選手。そして大木選手、高口選手、富田選手、岡本選手という順に。
果たして三島選手はトップを守れるか、そして岡本選手がどう動くか注目された。



三島選手はスタートを決めてトップでレースを開始。鶴岡選手と大木選手が続いた一方で、岡本選手はスタートだけでひとつポジションを上げ、さらにオープニングラップのうちに4番手に浮上。三島選手は堂々たる走りで、2周目に突入した段階で鶴岡選手を1秒7も引き離していた。鶴岡選手をリーダーに、富田選手、岡本選手、高口選手、大木選手が縦一列になって続く状態の中で、やはりと言うべきか早々と動いたのは岡本選手。2周目のヘアピンで3番手に上がると、3周目のストレートで鶴岡選手も抜いて2番手に。そして高口選手がヘアピンで富田選手をかわして4番手へ。

岡本選手が2番手に上がった時点で、三島選手のリードは1秒半。だが、これがみるみるうちに縮まっていく。6周目にテール・トゥ・ノーズ状態にした後、少しの躊躇もなく岡本選手はヘアピンでトップ浮上。その後はどんどん逃げていった。

三島選手もその後は単独走行。富田選手を高口選手が激しく攻め立て続けたが、逆転の決め手は欠いていた。その結果、三島選手が初めて表彰台に上がり、富田選手は2戦連続で表彰台へ。高口選手、大木選手、小松選手、鶴岡選手の順位でゴール。なお、最年長の太田浩選手（ミスト・セキグチ・制動屋）は7位、8位という結果となっている。

最後までゴールを緩めず走り続けた岡本選手は、トラブルが解消していたばかりか、最終ラップにファステストラップを記して、賞金をさらに示すこととなった。



なお、次回の「スーパーFJジャパン・チャレンジ」は9月4～5日に、ツインリンクもてぎで今回同様、2レース開催となる。誰が大量得点果たすか、気になるところだ。



第5戦優勝：岡本大地選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

今日はエンジン対策をしてもらって、その対策がうまくいったみたいで良かったです。けっこう路面が朝イチからダスティで、なんかすごい砂煙上がったりで、全然コンディション良くなかったんですよ。たぶん最後にファステスト出たのは路面状況の改善かな、とは思っています。普通に全開で僕はずっと走っていましたので。この勢いで日本一決定戦まで、しっかり頑張りたいと思います」

第5戦2位：三島優輝選手（Rn-Sports 制動屋 KKS-II）

「こうやってトップを走れて、トップ争いができたことは、鈴鹿の最終戦に向けて、いい経験になったと思います。岡本選手のペースが速かったので、とりあえず着いていこうと思っていたんですが、離されてしまって。後ろも来てしまうので、最後まで気の抜けないレースでした」

第5戦3位：富田自然選手（KKS-II/Aruga Support 香川）

「昨日のレースもそうでしたが、スムーズに抜いて、そのまま前を追うという態勢に、なかなか入れず、争っていた時間が長かったこともあって、逃げられたような感じになりました。もうちょっと改善点はありますが、表彰台に2回上がったことは喜ばしいことなので、次も反省活かして頑張ります」



2021 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第5戦
JAF地方選手権 スーパーFJ 岡山シリーズ

第4戦 公式予選 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット / アイダクラブ (AC)

2021.08.07 発表 10:03

天候：曇り

コース状況：ドライ

スタート時間：8:55:00

チェッカー時間：9:10:40

岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	タイム	Km/h	周回	トップ差
1	8	岡本 大地	KK-S II	FTK・レヴレーシング ガレージ	1' 39.703	133.705	5/ 7	
2	15	小松 響	KK-S II	Rn-Sports・OKABE・KKS II	1' 40.121	133.147	9/ 9	0.418
3	7	高口 大将	KK-S II	FTK・レヴレーシング ガレージ	1' 40.256	132.968	7/ 9	0.553
4 ※	61	富田 自然	KK-S II	KKS-II / ArugaSupport香川	1' 40.321	132.881	9/ 9	0.618
5	11	三島 優輝	KK-S II	Rn-Sports制動屋KKS-2	1' 40.732	132.339	6/ 9	1.029
6	12	大木 一輝	KK-S II	M2 KK-S II	1' 40.739	132.330	7/ 8	1.036
7	69	鶴岡 秀磨	KK-S II	MYSTセ'ンカイレシング' KKS-II	1' 41.157	131.783	9/ 9	1.454
8	21	太田 浩	KK-S II	ミスト・セキ'チ・制動屋	1' 41.597	131.213	5/ 9	1.894
9	10	夕田 大助	KK-S II	LAPS	1' 42.075	130.598	6/ 9	2.372
10	9	上吹越 哲也	KK-S II	FTK・レヴレーシング ガレージ	1' 42.339	130.261	4/ 9	2.636
11	71	林 寛樹	KK-S II	セ'ンカイレシング' 真不同Finaジ'-ED	1' 42.914	129.533	9/ 9	3.211
12	41	高良 年彦	WEST17J	PFCJ☆カラケンセツLBJ	1' 43.606	128.668	7/ 9	3.903

----- 以上予選通過 -----

予選通過基準タイム (130%) 2' 10.011

※セ'ク'No. 61は、2021 岡山国際サーキット 4輪レース 一般競技規則書 第6章 第23条 4. (走路外走行)により、当該周回のラップタイム(1' 40.201)を削除した。

参加台数：12台 出舞台数：12台

2021 OKAYAMAチャレンジカップ レース 第5戦
JAF地方選手権 スーパーFJ 岡山シリーズ

第4戦 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット / アイダクラブ (AC)

2021.08.07 発表 15:40

天候：曇り

コース状況：ドライ

スタート時間：14:18:26

チェッカー時間：14:38:48

岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	8	岡本 大地	KK-S II	FTK・レヴレーシング ガレージ	12	20' 22.761	130.827		1' 40.892	4
2	61	富田 自然	KK-S II	KKS-II / ArugaSupport香川	12	20' 28.457	130.220	5.696	1' 41.268	12
3	7	高口 大将	KK-S II	FTK・レヴレーシング ガレージ	12	20' 30.948	129.956	8.187	1' 41.458	10
4	12	大木 一輝	KK-S II	M2 KK-S II	12	20' 34.243	129.609	11.482	1' 41.664	10
5	69	鶴岡 秀磨	KK-S II	MYSTセ'ンカイレシング' KKS-II	12	20' 37.685	129.249	14.924	1' 42.218	11
6	11	三島 優輝	KK-S II	Rn-Sports制動屋KKS-2	12	20' 38.124	129.203	15.363	1' 41.497	10
7	21	太田 浩	KK-S II	ミスト・セキ'チ・制動屋	12	20' 44.321	128.560	21.560	1' 42.344	10
8	10	夕田 大助	KK-S II	LAPS	12	21' 00.391	126.921	37.630	1' 43.463	9
9	71	林 寛樹	KK-S II	セ'ンカイレシング' 真不同Finaジ'-ED	12	21' 05.148	126.443	42.387	1' 43.975	4
10	41	高良 年彦	WEST17J	PFCJ☆カラケンセツLBJ	12	21' 18.655	125.108	55.894	1' 44.602	4
11	9	上吹越 哲也	KK-S II	FTK・レヴレーシング ガレージ	10	17' 31.503	126.779	2 Laps	1' 43.120	3
----- 以上完走 -----										
	15	小松 響	KK-S II	Rn-Sports・OKABE・KKS II	4	6' 54.446	128.661	8 Laps	1' 41.536	3

参加台数：12台 出舞台数：12台

ベストラップ： 8 岡本 大地 1' 40.892 4/12 132.129km/h

第5戦 決勝 スタートイングリッド

主催：株式会社岡山国際サーキット / アイダクラブ (AC)
2021.08.07 発表 17 : 23

岡山国際サーキット 3.703km

1位
11 三島 優輝
KK-S II Rn-Sports制動屋KKS-2

2位
69 鶴岡 秀磨
KK-S II MYSTセ'ンカイレージン' KKS-II

3位
12 大木 一輝
KK-S II M2 KK-S II

4位
7 高口 大将
KK-S II FTK・レヴレージン' ガレージ

5位
61 富田 自然
KK-S II KKS-II / ArugaSupport香川

6位
8 岡本 大地
KK-S II FTK・レヴレージン' ガレージ

7位
21 太田 浩
KK-S II ミスト・セキ'チ・制動屋

8位
10 夕田 大助
KK-S II LAPS

9位
71 林 寛樹
KK-S II セ'ンカイレージン' 真不同Fエナジ'-ED

10位
41 高良 年彦
WEST17J PFCJ☆カラケンセツLBJ

11位
9 上吹越 哲也
KK-S II FTK・レヴレージン' ガレージ

※ **12位**
15 小松 響
KK-S II Rn-Sports・OKABE・KKS II

本スタートイングリッドは、2021 OKAYAMAチャレンジカップレース 特別規則 第8章 第27条 13. ② に基づき、決定した。

※セ'クンNo. 15は、2021 OKAYAMAチャレンジカップレース 特別競技車両規則 第2章 第11条 4. (タイヤ交換)により、最後尾グリッドとした。

2021 OKAYAMAチャレンジカップレース 第5戦 JAF地方選手権 スーパーFJ 岡山シリーズ 第5戦 決勝 正式結果

主催：株式会社岡山国際サーキット / アイダクラブ (AC)

2021.08.08 発表 11 : 06

天候：曇り

コース状況：ドライ

スタート時間：9:57:56

チェッカー時間：10:18:08

岡山国際サーキット 3.703km

順位	車番	ドライバー	モデル	車名	周回	所要時間	km/h	トップ差	ベストタイム	周回
1	※ 8	岡本 大地	KK-S II	FTK・レヴレージン' ガレージ	12	20' 12.024	131.986		1' 39.945	12
2	11	三島 優輝	KK-S II	Rn-Sports制動屋KKS-2	12	20' 17.819	131.357	5.795	1' 40.762	4
3	61	富田 自然	KK-S II	KKS-II / ArugaSupport香川	12	20' 21.331	130.980	9.307	1' 40.456	8
4	7	高口 大将	KK-S II	FTK・レヴレージン' ガレージ	12	20' 21.711	130.939	9.687	1' 40.288	9
5	12	大木 一輝	KK-S II	M2 KK-S II	12	20' 24.840	130.604	12.816	1' 41.021	10
6	15	小松 響	KK-S II	Rn-Sports・OKABE・KKS II	12	20' 28.717	130.192	16.693	1' 40.917	12
7	69	鶴岡 秀磨	KK-S II	MYSTセ'ンカイレージン' KKS-II	12	20' 30.641	129.989	18.617	1' 41.443	2
8	21	太田 浩	KK-S II	ミスト・セキ'チ・制動屋	12	20' 34.199	129.614	22.175	1' 41.640	5
9	10	夕田 大助	KK-S II	LAPS	12	20' 41.900	128.810	29.876	1' 42.447	11
10	9	上吹越 哲也	KK-S II	FTK・レヴレージン' ガレージ	12	20' 42.121	128.787	30.097	1' 42.132	7
11	71	林 寛樹	KK-S II	セ'ンカイレージン' 真不同Fエナジ'-ED	12	20' 55.988	127.366	43.964	1' 43.170	9
12	41	高良 年彦	WEST17J	PFCJ☆カラケンセツLBJ	12	21' 05.714	126.387	53.690	1' 44.006	11

——— 以上完走 ———

※セ'クンNo. 8は、複数回にわたる走路外走行により、黒白旗を提示した。(10:14)

参加台数：12台 出走台数：12台

ベストラップ： 8 岡本 大地 1' 39.945 12/12 133.381km/h

